



【TOPICS】

- 2011 実践教育研究発表会 千葉大会特集
 - ・ 2011 実践教育研究発表会開催校挨拶・・・1
 - ・ 大会概要と日程・・・2
 - ・ 特別講演・・・4
 - ・ 各系企画・・・5
 - ・ 交通アクセス・・・11

【2011 実践教育研究発表会 千葉大会特集】

2011 実践教育研究発表会開催校挨拶



校長 平塚 剛一

2011 実践教育研究発表会が当校で開催されますことを歓迎いたしますとともにお祝い申し上げます。全国の皆様とお会いできることを楽しみにしています。また、東日本大震災で被害を受けられた方々には謹んでお見舞い申し上げます。さて、ものづくり産業の苦戦が続く中、千葉県には当校の卒業生も活躍しているオンリーワン企業がいくつもあります。今回は、そうした企業の一つである株式会社タムラカントウの田村会長に特別講演お願いしました。また、当校のイベントとして近隣の中学生や教育関係者を集めた「キャリア教育エキシビジョン」も同時開催いたします。職業意識の高揚とものづくりへの関心が高まることを期待しています。十月から当校の業務は新しい独立行政法人に引き継がれ再スタートすることになりました。この研究発表会が職業能力開発のさらなる発展につながるものと確信しています。会員同士はもとより関係者との交流を深めていただきたいと思っております。成功をお祈りします。



千葉職業能力開発短期大学校

【2011 実践教育研究発表会 千葉大会特集】

大会概要と日程

実践教育研究発表会

2011 千葉大会

会期 9.29(木)～10.1(土)

会場 千葉職業能力開発短期大学校
千葉キャンパス

〒260-0025 千葉県千葉市中央区関屋町2-25
TEL 043-242-4193 FAX 043-248-5072
<http://www.ehdo.go.jp/chiba/college/>

大会テーマ

夢の架け橋
ものづくり・ひとづくり

- **一般講演** (機械系、電気・電子・情報系、建築・デザイン系、能力開発分科会)
- **ポスターセッション** (機械系、電気・電子・情報系、建築・デザイン系)
- **特別講演**
演題 「企業における人材確保と育成」
講師 株式会社タムラカントウ 代表取締役会長 田村 行雄氏
日時 9月30日(金) 15:30～17:00 会場 1104視聴覚教室(本館1F)
- **企業展示**
日時 9月29日(木) 13:00～17:00 会場 2207施工実験室(実習棟2F)
9月30日(金) 9:00～16:00 実習棟 2F 廊下
実習棟 2F 1号館への渡り廊下
- **全体交流会**
日時 9月30日(金) 18:00～20:00 会場 レストランほてい家



じっせんくん



主催 (社)実践教育訓練研究協会
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-18-36-203
TEL 042-300-1651 FAX 042-300-1652 <http://www.jissen.or.jp>

共催 千葉職業能力開発短期大学校

後援 厚生労働省
独立行政法人雇用・能力開発機構
[独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(予定)]
千葉労働局、千葉県、千葉市、千葉県職業能力開発協会
千葉県金型工業会、千葉JTEL

【2011 実践教育研究発表会 千葉大会特集】

2011 実践教育研究発表会 千葉大会日程表

会場：千葉職業能力開発短期大学校

大会テーマ：「夢の架け橋 ものづくり・ひとづくり」

9月29日(木) 受付11:30~本館1階 玄関ロビー					
機械系	電気・電子・情報系	建築・デザイン系	能力開発部会	企業展示 13:00 ~ 17:00 (展示 コー ナー)	
一般講演 13:00~15:20 A・B会場 (1409・1402)	一般講演 14:00~15:40 D・E会場 (1302・1301)	建築・デザイン系企画(I①) 13:10~14:30 F会場 (1403)	一般講演 13:20~15:00 G会場 (1311)		
機械系・能力開発分科会 共同企画 15:30~17:00 視聴覚教室 (1104)	ポスターセッション 16:00~16:40 2207 (施工実験室)	建築・デザイン系企画(I②) 14:40~15:40 F会場 (1403)	機械系・能力開発 分科会 共同企画 15:30~17:00 視聴覚教室 (1104)		
機械系専門部総会 17:00~17:30 B会場 (1409)	電気・電子・情報系 専門部総会 17:00~17:30 G会場 (1311)	建築・デザイン系企画(I③) 15:50~16:40 F会場 (1403)	事務局控室：1208 企業展示関係者控室 ：1206図書室		
建築系専門部総会 17:00~17:30 E会場 (1301)					
9月30日(金) 9:00~17:00					
一般講演 9:00~11:20 A・B会場 (1409・1402)	組込みシステム分科会 セッション 9:00~12:00 G会場 (1311)	一般講演 9:00~11:30 F会場 (1403)		企業展示 9:00 ~ 16:00 (展示 コー ナー)	
ポスターセッション P-1 11:20~11:40		ポスターセッション P-4 11:40~12:00			
(社)実践教育訓練研究会 総会 13:00~14:00 (本館1F 1104視聴覚教室)					
企業展示 14:00~15:00 (展示コーナー)					
特別講演「企業における人材確保と育成」 講演者：株式会社タムラントウ 代表取締役会長 田村 行雄 氏 15:30~17:00 (本館1F 1104視聴覚教室)					
全体交流会 18:00~20:00 (レストランほてい家)					
10月1日(土) 9:00~12:00					
一般講演 8:40~9:40 A・B会場 (1409・1402)	一般公演 8:40~12:00 D・E会場 (1302・1301)	一般講演 9:00~11:00 F会場 (1403)	一般講演 9:20~10:20 G会場 (1311)		
機械系企画 10:00~12:15 B会場 (1409)		建築・デザイン系企画Ⅲ 11:10~12:00			
		エクスカージョン ホギ美術館 13:30~16:00			

【2011 実践教育研究発表会 千葉大会特集】

特別講演

特別企画

『企業における人材確保と育成』

共催：千葉職業能力開発短期大学校

■日時： 2011年9月30日（金） 15:30～17:00

■場所：千葉職業能力開発短期大学校 本館1階 視聴覚教室（1104）

■講師：^{たむら ゆきお}田村 行雄 氏 株式会社タムラカントウ 代表取締役会長



＜株式会社タムラカントウ創業経緯と

田村行雄氏の略歴＞

昭和38年 東京都足立区の空調設備工事会社「市原工業所」に就職

昭和42年 20歳で独立

昭和46年 幕張に「田村冷熱工業株式会社」を設立

平成3年 現在の「(株)タムラカントウ」を設立

平成5年 銚子工場を建設

平成11年 (株)タムラカントウの本社・工場を現地の美浜区新港に建設

平成18年 千葉県の卓越した技能者（千葉県の名工）として千葉県知事表彰

平成21年 業務に精励し衆民の模範である方として黄綬褒章を受勲
関東空調工業会会長、全国ダクト工業団体連合会会長を兼務

■講演内容：

(株)タムラカントウは、空調設備工事会社で、なかでも高層ビルなどの空気調和ダクトの専門メーカーとして高い工事実績を誇る企業である。会社経営で最も重視していることは、「営業力」でありその前段として重視してきたのは会社と従業員との信頼関係の構築である。今回の特別講演では、新商品開発や社員教育など長く会社経営に取り組みされてこられた、創業者であり会長の田村行雄氏から「人材確保と育成」をテーマにお話しをいただきます。

【2011 実践教育研究発表会 千葉大会特集】

各系企画

●機械系

・機械系企画 シンポジウム『若い実践技術者にいかに安全の責任を教えるか』

未曾有の東日本大震災をきっかけに、福島原発事故が日本を震撼させています。これを発端に、日本人の安全意識に変化が生じています。特に、産業界の安全に対する考え方が大きく変化しています。

我々、職業訓練を担う者としてこれからの若い実践技術者に対し、いかにものづくりに対する安全の責任の考え方を持たせるかが、緊急の課題となっております。長年、労働省産業安全研究所、大学等で安全工学をご専門としてこられた杉本 旭氏においで頂き「若い実践技術者にいかに安全の責任を教えるか」との基調講演、そして機構立と県立の大学校や、企業の指導者から現状のものづくりの中の安全教育をそれぞれの立場から発表して頂き、会場の皆様方との意見交換の中から将来へ向けた若い実践技術者にいかに安全の責任を教えるべきかを考えてまいります。

【日時】 平成 23 年 10 月 1 日(土) 10 : 00 ~ 12 : 15

【場所】 千葉職業能力開発短期大学校 千葉キャンパス

【パネラー】

- ・明治大学 理工学部 機械工学科 教授 杉本 旭 氏
- ・職業大 東京校 生産機械システム 講師 中村 瑞穂 氏
- ・山形県立産業技術短期大学校 機械システム系 教授 来次 浩之 氏
- ・日本アイ・ビー・エム・サービス(株)
マネージャーコンサルティング I T S 三嶋 幸彦 氏

【司会進行】

- ・関東職業能力開発大学校 生産技術科 教授 菅野 金一

【シンポジウムの論点】

- ・若い実践技術者にいかに安全の責任を教えるか (基調講演)
- ・現状の実践技術者への安全責任の教育は
- ・将来の実践技術者への安全責任教育はどうあるべきか



●機械系・能力開発部会

- ・機械系、能力開発部会 および 千葉職業能力開発短期大学校 共同企画
シンポジウム 『企業経営者が職業能力開発短大・大学校に期待するもの』

【主旨】

千葉県の有良企業であり、またオンリーワンの製品を製作している企業体であります(株)パール技研、しのはらプレスサービス(株)、(株)久永製作所の3企業の関係者に集まっていただき、企業経営者の立場から、職業能力開発短期大学校ならびに職業能力開発大学校に期待するものを語っていただこうとするものです。また、あわせて、これらの企業には、千葉職業能力開発短期大学校の学生を含め、多くの能力開発施設から就職しているところから、卒業生の声も併せて聞かせていただければと企画しました。

辻 栄一 (能力開発部会長)

【日時】

平成23年9月29日(木) 15:30~16:40

【場所】

千葉職業能力開発短期大学校 会場(本館1階 1104視聴覚教室)

【セッション】

1. 講演 15:40-16:00(20分)

(株)パール技研

(株)パール技研 代表取締役 小嶋 大介氏

2. 講演 16:00-16:20(20分)

しのはらプレスサービス(株)

しのはらプレスサービス(株) 専務取締役 篠原 正幸氏

3. 講演 16:20~16:40(20分)

(株)久永製作所

(株)久永製作所 相談役 清水 宏祐 殿

(前千葉県金型工業会会長)

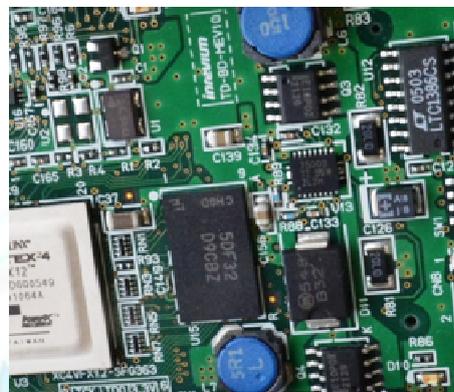
●電気・電子・情報系

・電気・電子・情報系企画 組込みシステム分科会セッション

ー組込みシステム業界の流れと、教育現場における取り組みー

【主旨】

組込みシステムにおいても CPU パワーやメモリ容量が増加し、多機能なペリフェラルが搭載されるようになってきた。代表的な製品としてはスマートフォンが挙げられる。このような状況の中、ますますソフトウェアに対する要求は膨大になりつつあり、CPU のパワーはいくらあっても間に合わないという状況に陥っている。このような状況を打破するための一つの解として、FPGA の活用がある。FPGA は書き換え可能なハードであるため、必要に応じて様々なペリフェラルを作成することができる。従ってソフトウェア部分でネックな部分（関数など）をハードウェア化するアプローチを取っている製品も少なくない。（例：EIZO 社製 FORIS FS2332 58cm FPGA 搭載）



工業高校・理工系大学などの教育、職業訓練の現場では、相変わらず PIC やマイコンといった、従来の“小さなアプリケーション”の課題をソフトウェアで処理していくことに時間を費やしている。これは上記のような世の中の流れに対し、ますます乖離していく方向となっている。理由として様々なことが考えられるが、その中の1つとして「FPGA は、ハードウェアなので（様々な意味で）ハードルが高い。」ということが挙げられるであろう。

本講演では、東京都の職業訓練校の講師を務める設計アナリスト鳥海佳孝氏により、業界における FPGA の普及活動や職業訓練校における FPGA を用いた教育内容、ソフトウェアとハードウェアで実現するときのそれぞれの違いについて講演していただく。

【日時】

平成 23 年 9 月 30 日（金） 9：00～12：00

【場所】

千葉職業能力開発短期大学校 G会場（1311教室）

【セッション】

1. 組込みシステム分科会セッションについて（15分）
組込みシステム分科会の活動と、今後の取り組みについて
職業能力開発総合大学校（組込みシステム分科会） 玉井 瑞又
2. 講演 9：15～10：35
FPGA 導入活用事例（業界の流れと教育現場における取り組み）
設計アナリスト 鳥海佳孝先生
3. 実践事例・意見交換 10：45～12：00
ソフトウェアのハードウェア化におけるポイント（LCD コントローラ事例）
設計アナリスト 鳥海佳孝先生

●建築・デザイン系

2011千葉大会/建築・デザイン系企画Ⅰ

特別講演:『— 建設業界の職育(職業教育)を考える —』

■日時: 2011年9月29日(木) 13:10~16:40

■会場: 千葉職業能力開発短期大学校 1403教室

◆ 特別講演(基調講演)

○2011年9月29日(木) 13:10~14:30 1403教室

○演題 “企業が職業訓練に何を期待しているのか”

JSCA 千葉代表・(有)SPC 設計代表 園部隆夫先生

○経歴 1948年 茨城県水戸市生まれ

1973年 日本大学大学院理工学研究科修了(田治見研究室)

1973年~ フジタ工業(現フジタ)

1984年~ フジタ構造設計部長

2002年~ 有限会社 SPC 設計設立現在に至る。

・技術士(建設・鋼構造およびコンクリート)

・一級建築士、構造一級建築士、構造計算適合性判定委員

・東京理科大学理工学部非常勤講師

○実績 大宮産業文化センター(ソニックシティ)

◆ パネルディスカッション

○2011年9月29日(木) 14:40~15:40 1403教室

○演題 “修了生と職業教育を語り合う”

○パネラー

古川 優子 氏 (有限会社飯島建築構造設計事務所 平成18年度修了)

石井 圭太 氏 (株式会社ディーエスケー工事部係長 平成15年度修了)

中島 宏和 氏 (千葉土建技術研修センター講師 平成4年度修了)

園部 隆夫 先生

◆ みんなで語り合う

○2011年9月29日(木) 15:50~16:40 1403教室

○園部先生、パネラーの皆さまに質問してみてください。今後の建設業界のあり方や未来についてみんなで考えて将来の夢をみつけてみましょう。

■企画担当: 大根 律久(千葉職業能力開発短期大学校 住居環境科)

■(社)実践教育訓練研究協会/建築・デザイン系専門部会

2011千葉大会／建築・デザイン系専門部会 系企画Ⅱ
『新たな職業能力開発総合大学校に向けて』

- 日時：2011年10月1日（土）

11：10－12：00（質疑応答・意見交換含む）

- 会場：千葉職業能力開発短期大学校 F会場 1403教室

- 主催：（社）実践教育訓練研究協会/建築・デザイン系専門部会

趣旨：現職業能力開発総合大学校と同東京校が統合し、2012年4月より東京都小平キャンパスに新たな職業能力開発総合大学校が再発足します。

そこで全国職業訓練施設の建築系職員に向け、新しくできようとしている職業能力開発総合大学校生産プロセス技術系・建築専攻の教育訓練についての理念・構想・カリキュラム・展望等を、分かりやすくご報告頂きます。

- コメンテーター

職業能力開発総合大学校東京校 建築系主幹 和田 浩一教授

- 総括： 千葉職業能力開発短期大学校 住居環境科 大根 律久氏
- 司会： 加島 守氏（職業能力開発総合大学校東京校 インテリア科）
- 企画： 石丸 進氏 （建築・デザイン系専門部会長）
- （社）実践教育訓練研究協会／建築・デザイン系専門部会

2011千葉大会／建築・デザイン系専門部会 系企画Ⅲ エクスカーション

◆ ホキ美術館見学

○2011年10月1日(土) 13:30~

○ホキ美術館(千葉市緑区あすみヶ丘東3-15)

・<http://www.hoki-museum.jp/top.html>

○交通 電車の場合 外房線土気駅よりバスで15分 車は千葉短大より約1時間
なお、お帰りは土気駅より羽田空港行きリムジンバスも運行しております。

○内容

建築トーク 日建設計(山梨和彦氏、鈴木隆氏)

・建物のデザイン・構造について1時間お話いただきます。

美術鑑賞および内部散策

・館内の作品をゆっくり鑑賞していただきます。

○参加費用 一人2000円(入場料+マイクロバス交通費含む)

★注意 館内での写真撮影はお止めください。また、建物を叩いたり、必要以上に触ったりすることもお止めください。

◆ 建物概要

日本初の写実絵画専門の美術館として2010年11月3日にオープンしました。千葉市郊外にある自然豊かな昭和の森公園と閑静な住宅地に囲まれた立地に美しい緩やかな曲線と幻想的なフォルムで構成された魅力溢れる外観とLEDによる柔らかい自然照明の中にある写実絵画との内観の演出はまるでその風景の中にいるのではないかと錯覚してしまうほど感動的です。世界的にも注目されているこの美術館を是非この機会に訪れていただきたいものです。



◆企画： 大根 律久 (千葉職業能力開発短期大学校 住居環境科)

◆(社)実践教育訓練研究協会／建築・デザイン系専門部会

【2011 実践教育研究発表会 千葉大会特集】

交通アクセス



●交通のご案内

- 電車
- ・ JR 総武本線「千葉」駅下車、徒歩 20 分。
または、駅前バスターミナル 11 番乗り場から小湊バス・千葉海浜交通にて、「ポートアリーナ」バス停下車、0 分
 - ・ 京成千葉線「千葉中央」駅下車、徒歩 10 分
 - ・ JR 外房・内房線「本千葉」駅下車、徒歩 12 分
 - ・ JR 京葉線「千葉みなと」駅下車、徒歩 18 分

編集後記

今回は2011年夏号として、今年度開催される2011実践教育研究発表会 千葉大会の特集を掲載致しました。特別講演や各系企画が盛りだくさんとなっております。このニュースをご覧になって興味をわいた方は、是非発表会まで足を運んで頂けたらと思います。

WEBニュース編集事務局では、皆様からの各地のポリテクビジョンや催し物に関する情報をお待ちしております。記事半ページ程度、写真2枚程度を添付していただき、以下のメールアドレスへ直接、もしくは編集事務局まで封書でお送りください。またこちらからも記事のお願いをするかもしれませんが、そのときにはご協力くださいますようお願いいたします。

例年、この時期になりますと、異動した方もいると思います。勤務先、メールアドレスの変更は、分かり次第、実践教育訓練協会事務局までメールまたはFAXにてお知らせください。



発行責任者：大竹 勉

発行：(社)実践教育訓練研究協会事務局

〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-36-203

TEL 042-300-1651 FAX 042-300-1652

<http://www.jissen.or.jp/> E-mail: jissen@jissen.or.jp

編集責任者：中谷 努

編集事務局：職業能力開発総合大学校

〒252-5196 神奈川県相模原市緑区橋本台 4-1-1

TEL 042-763-9163 FAX 042-763-9163

<http://www.jissen.or.jp/> E-mail: jissen@jissen.or.jp

広報委員会 Web Jissen News 編集部門：田中義弘・中谷努・御田村真毅

広報委員会 Home Page 編集部門：小玉博史・新島泰宏・有田浩之・永野秀浩

広報委員会 委員長：有田浩之

発行・編集：(社)実践教育訓練研究協会 広報委員会

JISSEN NEWS 2011 夏(No.172)